

議題◎ これからの環境人育成事業について

◎「環境人（かんきょうびと）」については、大津市環境基本計画（第3次）の目指す将来の環境像にも掲げられており、その育成については今後も力を入れていかなければならないと考えています。



◎本日は、環境人育成事業、特に大津こども環境探偵団について、現在抱える課題解決や今後の方向性について、忌憚ないご意見を頂戴したいと考えております。

◎現在の主な環境人育成事業について（環境政策課が主催しているもの）

大津こども 環境探偵団	小学校3年生～中学生が対象 50名募集 年間4回程度の活動	環境政策課主催、 探偵団エコリーダーに企画運営 補助を依頼
指導者研修会	年間2回程度（昨年度は3回）実施 幼稚園教諭等を中心に募集	環境政策課主催で実施 内容等は当懇話会で協議、報告
自然家族事業	幼児～低学年の子どもを含む親子家族 行事ごとに募集	おおつ環境フォーラムにて委託 実施
身近な環境調査員 制度	年間1つの生き物について、市民調査 員による生息調査を実施 R6はツバメ調査を実施中	環境政策課主催で実施

◎大津こども環境探偵団活動について

◆探偵団について（添付：募集時のプレス資料）

◆現在の事業実施体制

市：主催（メンバー・エコリーダー募集、保険対応、毎回の案内送付、出欠確認、
当日の運営主体、安全確認）

エコリーダー：企画・運営に協力

（活動について企画書作成、下見、当日の進行、各班の進行等）

◆課題

- ・参加者の低学年化（5, 6年→3, 4年）
- ・体感として集団行動をとれない子供の増加
 - ※特に非日常の場であるので統制が取れないのではとも考えている
 - ※現状の対応としては、あらかじめ把握している子ども同士は同じ班にしない、事前の情報共有、人員増等
- ・子どもたちの意識の変化
 - 中学年から継続して、6年生・中学生になってもくる子がない
- ・職員について
 - 時間外の削減要請（当日の人員体制等）
 - 人員体制の見直し
 - 思いの伝承の困難さ
- ・エコリーダーについて
 - 以前は探偵団終了後、エコリーダーになる子がいたが今は皆無
 - エコリーダー当日参加も減少傾向
 - 当日子どもの面倒を見てもらう人数が多い（前回は1班5, 6人を一人）

◎課題に対する対応

- ・中核市へのアンケート調査(環境学習推進についての取組、行政主体の事業の実施の有無等)
- ・懇話会での意見聴取